

新しい社会に向けて、中央大学は

自主独立の“学び”の精神を未来の後輩たちへ継承するために。

あなたもぜひこのプロジェクトに参加してください。

45万学員と一体となって大学づくりを推進します

中央大学創立125周年記念プロジェクトは、本学をグローバル・ユニバーシティとして世界最高水準の高等教育機関とするための総合的な改革計画です。このプロジェクトは、10年間にわたる、総事業費225億円、募金総額100億円の大事業で、45万学員の皆様と手を携えて推進しなければとても成功させることができません。すべての学員の皆様に、ぜひともこのプロジェクトにご参加いただき、ご支援をお願いいたします。今後、10カ年のタイムスケジュールで具体化される事業についてご紹介します。

中央大学 21世紀宣言

21世紀に新しい社会を創造する
世界最高水準の大学を目指し、
法人・教学・45万学員が
一体となって総力を挙げて、
大学改革総合プロジェクトを展開します。

【新しい大学づくり - 5つの目標】

- 1 人間性、国際性豊かな人材育成
- 2 世界で活躍するプロフェッショナルの育成
- 3 世界レベルの研究成果の発信・交流
- 4 都心・地域と一体となった知的資産の創造と活用
- 5 以上の大学づくりを実現するためのキャンパス整備

中央大学創立125周年記念事業の概要

(1)世界で通用する高度専門職業人教育の充実計画とその教育拠点となる市ヶ谷キャンパスの整備（総額18億円、寄付10億円）

この充実計画の内容は下記の通りで、文系大学院の都心展開の拠点とし、大学発展の原動力となることを目指します。

法科専門大学院（ロースクール）の創設

専門大学院国際会計研究科（アカウンティングスクール）の創設

文系大学院（法学研究科・経済学研究科・総合政策研究科等）の都心における高度専門職業人教育の拡充

(2)理工学部・大学院理工学研究科の教育研究体制の一層の充実、世界レベルの研究交流、産官学共同研究開発の推進と後楽園キャンパスの新棟建設＝カット左下（総額61億円、寄付26億円）この新棟建設の目的は下記の通りで、総面積は1万9千㎡で、2003年3月竣工予定です。

理工学部・大学院理工学研究科・理工学研究所の教育・研究の一層の充実

産官学共同研究の推進、地球環境研究所の設立

中大高校教育施設の拡充

大学全体の都心展開のための施設整備

(3)文系学部・大学院の教育研究体制の一層の充実と多摩キャンパスにおける教育研究棟建設（総額36億円、寄付10億円）

下記事業計画を推進するために、教育研究棟を建設し、多様な教育の充実に努めます。

学部・大学院の情報環境整備の推進

国際交流の推進・拡充

(4)学生のキャンパス生活及び課外活動の充実と多摩学生生活関連棟建設（総額31億円、寄付5億円）

学生のキャンパス生活及び課外活動の一層の充実

ダイナミックに進化を続けます。

(5) 国家試験に強い中央大学の伝統のさらなる発展と多摩学生研究棟「炎の塔」建設 = カット右下 (総額 17 億円、寄付 11 億円)

法職講座の拡充と司法試験に挑戦する学生のための特別な勉強環境の整備

会計士講座の拡充と会計士試験に挑戦する学生のための特別な勉強環境の整備

公務員講座の拡充と公務員試験に挑戦する学生のための特別な勉強環境の整備

(6) 各学部・大学院の教育に対する支援体制の強化と学生の文化・スポーツ活動の充実 (総額 23 億円、寄付 22 億円)

ゼミの後輩への勉強の支援、体育部後輩へ強くなるための資金援助、サークルの後輩への活動資金補助等々の受け皿を作り、有意義な学生生活の支援体制を整えます。

各学部の教育体制の強化 (各学部への指定寄付)

各学部各ゼミの教育体制の強化 (各ゼミへの指定寄付)

周年記念チェア (冠教授・冠講座) の設置

学部生・大学院生に対する経済援助、奨学金の拡充

学術・文化・スポーツ活動に対する奨励給付奨学金の拡充

学術連盟・文化連盟・学芸連盟・体育連盟・理工連盟等の各部会の活動強化 (各部会への指定寄付)

体育連盟諸施設の整備

高校・大学一貫教育の強化 (各高校への指定寄付)

(7) 大学と社会の人々との自由・活発な交流の促進とその拠点となる開放的な施設・多摩キャンパス「21 世紀館 (仮称)」及びモノレール駅前「グリーンテラス (仮称)」建設 (総額 35 億円、寄付 13 億円)

中大の歴史と政・財・法曹・文化・スポーツ界等における学員の活躍を展示する「中大歴史館」の設置

中大全ての広報及び社会の全ての人のための中大窓口「インフォメーションセンター (メディアステーション)」の設置

大学・学部一体となって、学生のキャリアアップを図る「キャリアセンター」の設置

大学の知的資産の社会への開放拠点となる「エクステンションセンター」の設置

国際交流の拠点「インターナショナルセンター」の設置

通信教育の一層の充実発展を図る通信教育部施設

学員会、父母連絡会等の専用施設

(8) 学部周年事業 (総額 4 億円、寄付 3 億円) 事業計画の 10 年間に、各学部の記念事業が繰り広げられます。

法学部 125 周年 (2010 年) 経済学部 100 周年 (2005 年)

商学部 100 周年 (2009 年) 理工学部 50 周年 (1999 年)

文学部 50 周年 (2001 年) 総合政策学部 15 周年 (2008 年)

募金活動計画

(9) 募金の目的及び方法

目的: 本学の創立 125 周年記念事業に要する資金の調達。

方法: 学員、学生父母、並びに本学役員、教職員、篤志家、及び法人に募金趣意書を配布し、賛同者から任意の寄付を募る。

募金総額: 100 億円

募金の種類: 個人による寄付、法人による寄付
個人の場合、1 口 5 万円 (できるだけ複数口お願いします) ただし、金額に関わらずありがたくお受けします。法人の場合、1 口の金額は特に定めません。

入金の方法: 一括又は分割 (年 2 回、最大限 20 回)

自動振替利用の場合は、年 1 回ないし 2 回の引き落としとなります。

募金の期間: 2001 年 10 月 1 日 ~ 2011 年 9 月 30 日

結びあう、学びあう、響きあう



(プロジェクトのねらい)

Dynamic: 未来を切り開く活力をもって

New Generation: 新しい世代のための

Academy: 最高水準の高等教育機関を目指す



後楽園キャンパス新棟(仮称)



多摩学生研究棟「炎の塔」